

単度量計算プログラム Rev.2

バージョンアッププログラムの使用方法

このバージョンアッププログラム (RecoverPro3.xls) を用いると、単度量計算プログラム Rev.2 における、これまでに発見されたすべての“バグ”を修正できます。

いままでに掲載した修正のためのプログラム (RecoverPro1.xls および RecoverPro2.xls) によって修正したファイルを用いる場合にも、このバージョンアッププログラムを用いて修正を行ってからご使用いただきますようお願いいたします。

1. バージョンアッププログラムをダウンロードする方法

バージョンアッププログラムは、パソコン内にダウンロードしてからご使用ください。ダウンロードの方法を以下に示します。

- 1) バージョンアッププログラム (RecoverPro3.xls) のアイコンをクリックしてください。
- 2) “ファイルのダウンロード”画面が表示されたら、“保存”をクリックしてください。(ここで、“開く”をクリックしても修正は行われません。)
- 3) “名前をつけて保存”画面が表示されたら、保存場所を指定して名前を変更せず (RecoverPro3.xls) 保存してください。

2. 単度量計算表の修正方法

- 1) 既に関いているエクセルファイルがある場合には、それをすべて閉じてください。
- 2) 単度量計算表を開いてください。
- 3) ダウンロードしたバージョンアッププログラム (RecoverPro3.xls) のファイル名をクリックしてください。
(通常のエクセルファイルを開くときと同様の操作を行っていただきます。)
- 4) “バージョンアッププログラム”が自動で“単度量計算表”のプログラムを修正します。
修正が終わると“プログラムの修正が終わりました。”とメッセージが表示され、“OK”をクリックすると“バージョンアッププログラム”は終了します。
- 5) これでプログラムの修正は完了です。

修正の終わった“単度量計算表”は原本として、パソコン内もしくは外部記録装置 (CD、USB 等) に保存していただくようお願いいたします。CD (単度量計算プログラム Rev.2) のなかにある“単度量計算表”を使用する場合には、使用の都度“バージョンアッププログラム”を用いてプログラムを修正する必要があります。

注) “単位量計算表”以外の名前をつけて保存したファイルでも、ファイル名を“単位量計算表”に変更すれば修正できます。修正後にファイル名を元の名前にもどして使用してください。

3. 単位量計算表の修正される箇所

1) 計量記録において、下に示す赤枠内がロックされているため材料名称を変更できないので、ロックを解除し、材料名称欄を自由に書き込みできるよう修正します。

計量記録 戻る 報告書閲覧 データ一覧 データ保存 計量記録2へ

日付	練混ぜ開始時刻	車番	配合番号	配合名称	1車積載量	注記欄											
2010/1/15	8:00	100	1	普通27 18 20 N(標準配合)	4.20 m ³												
	バッチNo	G1	G2	G3	G4	S1	S2	S3	C1	C2	C3	W1	W2	AD1	AD2	AD3	その他
		粗骨材	粗骨材			細骨材	細骨材		NC			スラッジ水	工業用水		AE減水剤		
計量記録	1バッチ目	1	1180	1500		780	1370		509			133.0	227.0		5.24		
	2バッチ目		1210	1460		800	1330		507			126.0	228.0		5.33		
	3バッチ目		940	1190		630	1100		404			118.0	181.0		4.25		
	4バッチ目																
	5バッチ目																
骨材の表面水率 / スラッジ水の濃度	練り量(m ³)	G1	G2	G3	G4	S1	S2	S3	W1								
	1バッチ目	1.50	0.9%	0.6%		3.5%	5.2%		9.3%								
	2バッチ目	1.50	0.9%	0.6%		3.3%	5.0%		9.7%								
	3バッチ目	1.20	0.9%	0.6%		3.1%	5.8%		10.5%								
	4バッチ目																
人工軽量骨材の吸水率	-								-								
骨材の過大・過小粒	-	3.0%	1.5%			6.0%	4.5%		-								

材料名称を変更できるよう修正します

2) 報告書において、各バッチの練り混ぜ量が正しく表示されない場合があるので、正しく表示できるよう修正します。

*** 計量及び単位量算出記録 ***

日付	練混ぜ開始時刻	車番	配合No	普通27 18 20 N(標準配合)	1車積載量											
2009/12/15	8時00分	100	1	普通27 18 20 N(標準配合)	4.50m ³											
				G1	G2	G3	G4	S1	S2	S3	C1	C2	C3			
				G	粗骨材	粗骨材	粗骨材	粗骨材	S	細骨材	細骨材	細骨材	細骨材	NC	NC	CB
				合計	⊕	⊕	⊕	⊕	合計	⊕	⊕	⊕	⊕			
配合計量値		kg/m ³		775	182				491	225			231			
運動計の概算値																
人工軽量骨材の吸水率																
骨材の過大粒/過小粒				0.0%	0.0%				0.0%	0.0%						
バッチNo.1 表面水/スラッジ水濃度				0.0%	0.0%				3.7%	5.0%						
バッチNo.2 表面水/スラッジ水濃度				0.0%	0.0%				3.8%	5.4%						
バッチNo.3 表面水/スラッジ水濃度				0.0%	0.0%				3.4%	5.6%						
設定値の単位量 (A)		kg/m ³		957.0					952.1				221.0	1		
バッチNo.1 計量値		(0.50 m ³)											90	509.0		
バッチNo.2 計量値		(0.50 m ³)											90	507.0		
バッチNo.3 計量値		(0.50 m ³)											90	404.0		
運動率1百分の平均単位量 (B)		kg/m ³		904.1					927.9				209.4	1		
設定値の単位量 (A)と運動率1百分の平均単位量 (B)との差				-7%					-4%				-7%			
JIS A 5009 表-5への適合				不適					不適				不適			
(参考値)		kg/m ³		725	179				465	229			208			
計量記録から算出した単位量																
運動率1百分のスラッジ固形分量				0.00%												

備考: 1車積載量、及び計量値に示す[m³]は[m³]を示す。

戻る 印刷 データ一覧 計算手順

3) 「設定値の単位量 (A) と運搬車 1 台分の平均単位量 (B) との差」の計算において、分母が“設定値の単位量 (A)”であるべきところ、“運搬車 1 台分の平均単位量 (B)”となっていた計算式を修正します。

計 算 手 順 説 明 書

項目・計算方法		配合名称: 普通27 18 20 N(標準配合)										
		G 合計	G1 粗骨材	G2 粗骨材	G3	G4	S 合計	S1 細骨材	S2 細骨材	S3	C1 NC	
運搬車1台分の平均単位量 (B)	運搬車1台分の平均単位量(kg/m ³) <small>(骨材についてはそれぞれの計量値を合計する。)</small>	AP	968.7	-	-	-	-	887.0	-	-	-	331.5
	設定値の単位量(A)と運搬車1台分の平均単位量(B)との差 $(AP - X) \div AP$	AQ	+1%	-	-	-	-	+1%	-	-	-	+0%
	規格値 $(AP - X) \div X$ に修正します	AR	3.0%	-	-	-	-	3.0%	-	-	-	1.0%
	JIS A 5308表 - 5への適合 (セメント, 水:1%以内, 骨材, 混和剤:3%以内, 混和材:2%以内)	AS	適	-	-	-	-	適	-	-	-	適
骨材の表面水率の戻し (kg/m ³)	運搬車1台分の平均単位量に含まれる表面水の量 骨材: $AO \div (1 + AML) - AO$ W合計: - (AT行の G1~G4, S1~S3の合計)	AT	-	-6.9	-1.1			-	-16.5	-18.7		-
	表面水補正戻し後の単位量 骨材, 水 AO+AT 骨材, 水以外 AO	AU	960.7	770.4	190.3			851.8	499.4	352.4		331.5

4) 手順書 設定値の単位量(A)の計算の過程における“骨材の表面水による補正後単位量 × 練混ぜ量”における単位が“kg/m³”と誤表示されているので“kg”と正しい表示に修正します。

設定値の単位量 (A)	骨材の表面水による補正後単位量 × 練混ぜ量 $(kg/m^3) \times Y$ $U \times Y$ (kg) に修正します	1バッチ目	V ₁
		2バッチ目	V ₂
		3バッチ目	V ₃
		4バッチ目	V ₄
		5バッチ目	V ₅
		合計	V
各材料の設定値の単位量(kg/m ³) 骨材, 水 V ÷ Y その他の材料 R		W	

5) 手順書 骨材の表面水率の戻しにおける“運搬車 1 台分の平均単位量に含まれる表面水の量”における骨材の計算式が、“ $AO \div (1 + AML) - AO$ ”と誤表示されているので“ $AO \div (1 + AM) - AO$ ”と正しい表示に修正します。

骨材の表面水率の戻し (kg/m ³)	運搬車1台分の平均単位量に含まれる表面水の量 骨材: $AO \div (1 + AML) - AO$ W合計: - (AT行の G1~G4, S1~S3の合計)	AT
	表面水補正戻し後の単位 骨材, 水 AO+AT	AU $(1 + AM)$ に修正します

6) 配合計画値が設定されていない材料欄に計量値を入力したときに(通常は入力しない)、“設定値の単
 位量と運搬車1台分の平均単位量との差”が「ゼロ」になり、JIS A 5308 への適合の欄に“適”が誤表示さ
 れる“バグ”を修正します。

例) 配合計画値が設定されていない「C2」の計量値の欄に「1.0」と入力した場合
 修正前

*** 計量及び単位量算出記録 ***

日付: 2009/12/15 練混ぜ開始時刻: 8時00分 車番: 100 配合No.1 普通27 18 20 N(標準配合) 1車積載量: 4.20m3

	G1	G2	G3	G4	S1	S2	S3	C1	C2	C3
	G 粗骨材		S 合計		細骨材			NC		
配合計画値	kg/m ³	775	192		491	335		331		
混和剤の希釈倍率										
人工軽量骨材の吸水率										
骨材の過大粒/過小粒		3.0%	1.5%		6.0%	4.5%				
バッチNo.1 表面水/スラッジ水濃度		0.9%	0.6%		3.5%	5.2%				
バッチNo.2 表面水/スラッジ水濃度		0.9%	0.6%		3.3%	5.0%				
バッチNo.3 表面水/スラッジ水濃度		0.9%	0.6%		3.1%	5.8%				
設定値の単位量 (A)	kg/m ³	954.8			881.0			331.0		
バッチNo.1 計量値	(1.50 m3)	1180	320		780	590		509.0	1.0	
バッチNo.2 計量値	(1.50 m3)	1210	250		800	530		507.0		
バッチNo.3 計量値	(1.20 m3)	940	250		630	470		404.0		
運搬車1台分の平均単位量 (B)	kg/m ³	968.7			887.0			331.5	0.2	
設定値の単位量 (A)と運搬車1台分の平均単位 量 (B)との差		+1%			+1%			+0%	0%	
JIS A 5308 表 - 5への適合		適			適			適	適	
(参考値) 計量記録から算出した単位量	kg/m ³	784	197		485	347		332	0	
運搬車1台分のスラッジ固形分率		2.60%								

備考: 1車積載量, 及び計量値に示す「m3」は「m³」を示す。

戻る 印刷 データ一覧 計算手順

修正後

*** 計量及び単位量算出記録 ***

日付: 2009/12/15 練混ぜ開始時刻: 8時00分 車番: 100 配合No.1 普通27 18 20 N(標準配合) 1車積載量: 4.20m3

	G1	G2	G3	G4	S1	S2	S3	C1	C2	C3
	G 粗骨材		S 合計		細骨材			NC		
配合計画値	kg/m ³	775	192		491	335		331		
混和剤の希釈倍率										
人工軽量骨材の吸水率										
骨材の過大粒/過小粒		3.0%	1.5%		6.0%	4.5%				
バッチNo.1 表面水/スラッジ水濃度		0.9%	0.6%		3.5%	5.2%				
バッチNo.2 表面水/スラッジ水濃度		0.9%	0.6%		3.3%	5.0%				
バッチNo.3 表面水/スラッジ水濃度		0.9%	0.6%		3.1%	5.8%				
設定値の単位量 (A)	kg/m ³	954.8			881.0			331.0		
バッチNo.1 計量値	(1.50 m3)	1180	320		780	590		509.0	1.0	
バッチNo.2 計量値	(1.50 m3)	1210	250		800	530		507.0		
バッチNo.3 計量値	(1.20 m3)	940	250		630	470		404.0		
運搬車1台分の平均単位量 (B)	kg/m ³	968.7			887.0			331.5	0.2	
設定値の単位量 (A)と運搬車1台分の平均単位 量 (B)との差		+1%			+1%			+0%	#DIV/0!	
JIS A 5308 表 - 5への適合		適			適			適	#DIV/0!	
(参考値) 計量記録から算出した単位量	kg/m ³	784	197		485	347		332	0	
運搬車1台分のスラッジ固形分率		2.60%								

備考: 1車積載量, 及び計量値に示す「m3」は「m³」を示す。

以上